

運用事例

迷子

安全なホスピタリティ

運用例



検知

迷子の報告

保護者が近くの警備員や従業員に迷子の届け出をすると、子どもの画像が提供され、適切な職員と共有されます。



分析

ビデオ解析による検索開始セキュリティチームは、提供された子供の画像を基に、子供の外見、靴、服装などを識別特性として活用し、ビデオ解析を用いてエリア検索を開始。



通信

現場の情報共有

双方向無線を使って、警備班に捜索を開始する場所を知らせます。子供の画像は警備班全体に配信され、関連するメンバーに継続的に最新情報が提供されます。



対応

問題解決と記録

迷子になった子どもの所在を突き止め、保護者に引き渡す。すべての関連情報を含む事案報告書が安全に文書化されます。

テクノロジー



検知

- 無線通信
- 音声・マルチメディア
- WAVE PTX：マルチメディア共有&ブロードバンド・プッシュ・トゥーク (PTT)



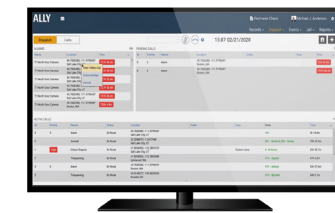
分析

- 固定ビデオセキュリティ
- コントロールルームソフトウェア (Avigilon Control Centerなど)
- アピランス検索



通信

- 無線通信
- 音声・マルチメディア
- WAVE PTX：マルチメディア共有とブロードバンド・プッシュ・トゥーク (PTT)
- ディスパッチコンソール



対応

- 事案管理



*カメラ映像はイメージです。

モトローラ・ソリューションズ motorolasolutions.com/ja_jp

モトローラ、MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONSおよびモトローラのロゴマークはMotorola Trademark Holdings, LLCの登録商標であり、そのライセンスに基づき使用しています。文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。© Motorola Solutions, Inc. 2022. All right reserved.